

四恩園 NEWS

おん えん

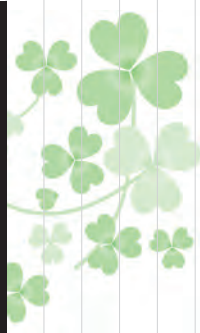
2
vol.44



四恩園冬の風物詩アイスキャンドル



(関連記事8頁)



- 発行者 北広島リハビリセンター 特養部四恩園
- 住 所 〒061-1153 北広島市富ヶ岡509-31
- TEL (011)373-6655
- FAX (011)373-6611
- ホームページ <http://www.shionen.or.jp>
- E-mail tokuyo@shionen.or.jp
- 編集発行 広報委員会
- 編集発行責任者 三瓶 徹

「かかわる」「つながる」 「きずな」が生まれる

施設長 三瓶 徹

昨年は、東日本大震災があり、自然の猛威、さらに原発による放射能汚染など、思うようにならない現実があるということを知らされた年であります。人間の力ではどうにもならないものがあることを知り、それにどのように謙虚に向き合うのかが問われております。さらに、人と人のつながりの大切さを教えられた年でもありました。

宮城県の特養で、災害に遭われ建物が全壊し、数名の利用者や職員が犠牲になった中で、その利用者と職員が、廃院した病院に間借りしながら、力をあわせ乗り越えようとしている人たちがおります。災害を乗り越えサービスに努めている人たちのことを思うとき、平穏な日常にあって仕事ができることに感謝し、さらに努力しなければなら

ないことに思いが至ります。

未曾有の高齢化にあつてどの国も経験のしたことのない高齢社会をどのように乗り切っていくのか、国の施策も手探りをしながらのものであります。これまで、点から線で支えてきた制度の仕組みを、地域包括ケアシステムの確立に向けた介護保険

法の見直しにより、面へと変えていくということでもあります。地域包括ケアは、保健・医療・福祉、さらに地域住民のボランティアなどあらゆる資源を活用し、一体となって支えていくということです。制度にある利用者の尊厳の保持は、ケアを担う者との関係性によって血の通ったものになるものであり、その「人を大切に思う」人と人の関わり

に「尊厳を保持」する関係が生じるものであります。それは、ケアに限らず、「あなたを大切に思う」思いは、人と人の関係に生じるものであり、プライベートや仕事における関係に

おいても変わらないものであり、つながりやきずなの大切さが言われる所以であると私は考えます。

地域は超高齢社会へとまっしぐらであります。安心して暮らすことのできる地域にするのもっとも手短な方法は、楽しみながらつながりやきずなをつくることです。互いのかかわりやきずなを支えられていることを感じた時、この地域で暮らしてよかったと実感できるものではないでしょうか。地域交流ホーム「ふれて」をとおり、地域の皆さんと共に考えていきたいものです。



「振り込め詐欺」と 新たな「受け取り詐欺」に ご注意！

北広島市みなみ高齢者支援センター

家族を装い、現金を振り込ませるこれまでの「振り込め詐欺」に替わり、詐欺を行う犯人が自宅を訪問して現金を受け取る「受け取り詐欺」の被害が全国各地で相次いでいます。

「受け取り詐欺」の例としては、税務署、市役所の職員を名乗って電話をした後、訪問して多額の現金を直接受け取るとうします。「受け取り詐欺」が急増した背景には、摘発の強化で不正行為に使える口座開設が困難になったことや、銀行等の防犯対策が進んだことが挙げられています。

普段から会話の少ない高齢者につけこみ、訪問して会話を弾ませ気持ちを緩ませることも犯行の口実とされています。簡単に話を信用しない意識を持つことが予防策ですが、日々の生活に不安や寂しさを抱くことがあれば、みなみ高齢者支援センターに何時でも御相談下さい。

四恩園浴槽への思い



四恩園が開設され約十七年の時が過ぎました。当初、建設する上で様々な場所の設備に悩み、部品や素材一つ一つに気持ちを込め、その中でも浴室にはこだわりの持ったと語る三瓶施設長。今回はその思いの一部をお話させて頂きます。

四恩園には特養部とデイサービスの二カ所に浴室があり、デイサービスには個浴槽、特養部には特別浴槽、リフト浴槽、個浴槽といった浴槽が三種類あります。その中でも特に力を入れたのが個浴槽です。当時、温泉などのような埋め込み式浴槽が主流だったのですが、三瓶施設長はこれまで培った知識に加え、様々な施設や温泉に足を運び、実際に自分自身で入浴体験

することで、在宅に近い現在の浴槽に辿り着いたそうです。（写真1）

ではなぜ埋め込み式や大浴場式にしなかったのか。その理由として、一つ目は職員が上から見下ろすような状態ではなく、同じ目線で対面することで安心



写真1

感を持つてほしかった事。二つ目は身体など洗っている時のお湯がかかってしまう事への配慮。そして三つ目は安全であり安心して入浴してほしいという事です。皆さんも温泉に行った時のことを思い出しながら考えてみてください。広い風呂は体位が安定しない為、自分の腕で支えたり、正座などで体感保持することがあると思います。同様の事を身体が不自由な方や高齢者の方々が行うことがどれだけ大変なことか。そしてそれは、浴槽の深さ・幅、手摺の位置・太さ、手摺と浴槽の間隔等全てにおいて細かなところまで追究したそうです。手摺に関して考える際、段ボールでデモを作成し、握りやすさやトランスファアを行う際に足や手が引っ掛からないかなどの調整も行ったそうです。（写真2）手摺が浴槽内の周りにあることで蛇口に触れ火傷をしてしまう事への回避も考えました。他にもまだ



写真2

まだワクワクするようなお話を聞くことが出来、正直このような想いや、努力があったことを私は知りませんでした。だからこそ、今回皆様にも聴いて頂きたかったのです。どの場面においても、自然に生活出来ている根源には並々ならぬ努力や思いが詰まっているということを忘れずに努めていきたいです。資源もお客様の生活の一部であるからこそ大切にしていかなければならないと思います。

（施設サービス課 河村）

おかげさまで
誕生1周年!

北広島団地 地域交流ホーム ふれて

感謝、感謝の2大イベント

平成23年10月8日

ふれてフェスティバル 2011

突き抜けるような青空のもとで行なわれた
第1回ふれてフェスは、地域の住民と商店、
そして市民スタッフと職員とがひとつとな
り、とても楽しかった一日でした。



ようこそ! ふれてへ!



にぎわう会場



たくさんの商店の
協力がありました



狙いをよ〜くすまして〜



子どもは綿あめ大好き!



この甘さが懐かしい



忙しい中にも笑顔あり

ふれては通いやすい
団地の中心にあります



次はボク達の番だ!



それ! よいしょ!

平成23年12月28日 ふれてもちつき大会

たくさんの来場者に市民スタッフもびっく
り! 日本の伝統は世代を渡り受け継がれ
ていきます。



見よ! 大量のおしるこ!



おかわりー!!



もちつき大好き施設長!



いい感じでつき上がりましたね!

1年間で述べ6,000人の方々がふれてに足を運んでいただきました。当初は不安でいっぱいでしたが、みなさんの笑顔がその不安を吹き飛ばしてくれました。これからもみなさんと共に歩み、人と人とのつながりから生きることの喜びを感じていきたいです。
(地域交流ホームふれて スタッフ一同)

四恩園クラシック part2

平成10年は在宅サービスの三本柱である、デイサービス・ショートステイ・ホームヘルプサービスが整備されました。前年からスタートしていたデイサービスは、お客様と御家族の幅広いニーズに対応出来るように、365日年中無休、朝8時から夜18時の営業時間に変更になりました。また、二年後から施行される介護保険制度に関して、福祉サービスへの民間企業参入による市場原理の導入を、当時から三瓶施設長が危惧していたことが機関紙を通して読み取ることが出来ます。



中庭でバーベキュー（デイサービス）



当時行っていた配食サービス



「施設美化は職員の手で」床清掃

平成10年は
こんなことが
ありました。

◆出来事

- ・若貴、史上初の兄弟横綱
- ・和歌山毒入りカレー事件
- ・サッカー、仏W杯初出場

◆流行語

- ・ハマの大魔神
- ・凡人 軍人 変人
- ・だっちゅーの
- ・老人力
- ・冷めたピザ

◆ヒット曲

- ・長い間
- ・夜空ノムコウ
- ・タイミング
- ・Time goes by

～ミナパピリカ～

特養部

新年交礼会

今年も元旦の朝、毎年恒例の新年交礼会が行われました。今年は職員が着物を着たのですが、その着付けをお客様がしてくださり、普段とはまた別の表情をうかがう事が出来ました。そして施設長を始め、家族会会長、職員より挨拶を行い、本年も笑顔多く、そしてお客様と共に過ごせる幸せを願いながら皆様と一緒にお酒で乾杯をしました。

(施設サービス課 河村)



訪問看護

秋の大運動会

十一月六日、市内緑陽小学校の体育館で当訪問看護ステーション主催の運動会を開催しました。訪問看護のお客様の他、ご家族様、職員、ボランティア、総勢三十二名での賑やかなひと時となりました。

当日は、玉入れ、パン食い競争、借りもの競争など運動会ならではの種目を中心に競技が進みました。普段以上にお元気な皆様の姿に職員が驚かされる場面が多く、観声や応援の声が響き渡っていました。競技終了後には、あたたかい鍋を囲み、お食事や歓談も楽しみました。

職員を含め、運動会への参加は何年(何十年?)ぶりだったのでしょうか? 体を動かしたり、大きな声を出したり、点数が入るたびに一喜一憂したり……。とても刺激のある一日でした。

(訪問看護 水野)



運動会のあとはお鍋であったか～



白熱! 玉入れ!

ヘルパー

『ヘルパーステーション二十四時』

四恩園のヘルパーステーションでは、二十四時間三六五日、お客様の必要に応じて訪問させていただいています。その中で、夜間専門のヘルパーが静かに奮闘していることは、あまり知られていないかもしれません。

夜間の訪問では、主に就寝介助や排泄介助、体位交換などの援助を行います。自力で身体を動かす事のできないお客様は、二時間おきの体位交換が必要とされ、ヘルパーは事務所とお客様のお宅を何度も往復することがあります。そのため、夜間のヘルパーにとって怖いのは冬の運転。吹雪いて何も見えないこともあれば、つるつる路面のこともあります。

しかし、夜勤をしているヘルパーに聞いてみると、「天候が悪く大変な時もありますが、お客様の言葉に救われることや顔を拝見してホッとする事も多々あり、逆に元気を頂いています」という声が聞かれました。

お客様が在宅で安心して暮らしていただくために、欠かせない夜間の訪問。お客様が四恩園を必要とするかぎり今夜も走り続けます。

(ヘルパーステーション 石川)



準備万端!



いってきまーす!

わ き あい あい
輪喜愛逢

デイサービス

餅つき大会

十二月二十一日(水) 二十二日(木) デイ

サービスでは「年忘れ大餅つき大会」を開催しました。皆さんが一生懸命にお餅をつき、懐かしながらお餅を丸め、「いやー、久しぶりにお餅をついたわ、おいしいお餅ができるわ」「出来るかしら、これくらいいい？」など、わきあいあいとした時間がながれていました。そしてお餅をお皿にあげると「わあー!」と感声があがり、拍手がおきました。そのあとは、皆さんがついたお餅をお雑煮やお汁粉、粉子もちなどにして、「やっぱり、自分がついたお餅はおいしいわね」と笑顔で召し上がられていました。皆さんが笑顔で元気で過ごせることを願いながら、私もデイサービス職員一同もお餅をつかせていただきました。これからもどうぞ、よろしくお願ひ致します。

(デイサービス 岡崎哲也)



さとみ

贅沢な時を……
さとみクリスマス会

観て・食べて・唄って楽しむクリスマス会を三日間にわたり行ないました。料理はオードブルの豪華版! 余興は民謡サークル「隆芳会」の方々にお願ひしました。三味線、太鼓、尺八の生演奏。そしてすばらしい歌声を披露してもらいました。民謡ライブを楽しんだ後は、特別にフラダンスや日舞も演じていただきましたみな大感激。職員もお客さまと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



かたる

かたるで書き初め

デイホームかたるでは、開設以来、年始にお客様と書き初めを行っています。今年も年始の一週間をかけ、ご利用の皆様と書き初めをしました。何年かぶりに筆を手にする方、「うまく書けないね。」と言いつつも、実に素晴らしい字を書いていらっしゃいました。かたるでは、お正月の風習を改めて実感していただくこと、字を書くという取り組みを行うこと、またお客様と職員の交流の場として、今後も実施していきたいと考えています。

(デイホームかたる 富岡)



感染予防の標語

〈お客様、職員共々安心安全を第一に感染対策に努めましょう〉

手洗い・うがい・規則正しい生活

—感染予防はまず自分から—

(感染対策委員会)

アイスキャンドルレシピ

冬の風物詩と言えば、市内でも有名なイルミネーションやかまくら、アイスキャンドルなどがあります。毎年、四恩園でも雪やイルミネーションなど、様々な形で皆さんに楽しんで頂いています。その中の一つとして、アイスキャンドルの作り方を紹介させて頂きたいと思います。

アイスキャンドル レシピ

- ・用意するもの：バケツ・水・キャンドル（ろうそく）
- ・服装：防水手袋・防寒具
- ①バケツに水を八割ほど入れます。
- ②外の平らな所に置きます。（家や暖かい所の近くは凍りづらいため注意）
- ③夜の気温がマイナス10℃以下の寒い日で、一〜二日間放置します。
- ④何度か様子を見て、凍っているのを確認してからバケツを逆さまにします。
- ⑤逆さまにしたバケツにお湯をゆっくりかけ、出てくるのを待ちます。
- ⑥出てきたら、中に残っている水を抜きます。（氷で手を切らないように注意）
- ⑦その中に、キャンドル（ろうそく）を入れます。
- ⑧アイスキャンドルの完成！

以上がアイスキャンドルレシピでした。まだまだ、寒い日があると思いますので、そんな寒い夜をアイスキャンドルの暖かい灯火で、心を温めてみるというのはいかがでしょうか。

(デイサービス 岡崎哲也)



感染対策研修

先日当施設において、ノロウイルスの感染対策研修会を行いました。感染力の強いウイルスで嘔吐や下痢症状が主です。そのため最初の対応が肝心となります。四恩園ではデイサービスの食堂を想定し集団の中で嘔吐した場合の対応について寸劇を交えて行ないました。日頃の手洗いも再確認しながら、ノロウイルス等の感染症拡大を防ぐ為にスタッフ全員が気を引き締めました。

(感染対策委員会 吉永)



安全運転の標語

曲がり角 いつも危険が隠れてる

(交通安全委員会)

四恩園では安全運転の標語と北広島市内交通事故危険マップを作成し、職員一人ひとりが安全運転を心がけています。

編集後記

今年も早いもので1カ月が過ぎました。昨年は未曾有の大災害があり、壊滅的な被害を受けました。一方、なでしこジャパンの活躍で、日本はまだまだこれから！と奮い立った人も多かったのではないのでしょうか。今年は明るいニュースの多い年になりますように…。